

宝木地区・西中丸自治会

「1000世帯の大規模自治会で地域ぐるみの活動を展開」

●加入世帯 1035世帯 ●加入率 95.2%

活動内容

西中丸地域は、市の西部に位置した農村地域であったが、昭和40年代から開発が進み、隣接地域に大規模住宅団地が開発されるなど都市化の影響が進み農業経営者も減少しつつある。とはいえ、まだまだ農地もあり住環境の良いところである。

ただし、公共交通機関はなく、高齢者社会を迎えこれが対応をどうすべきか、今後の課題として取り組まなければならない問題もある。

①昭和49年4月、現在の西中丸自治会として再発足し、1000世帯を超える大規模自治会で、老人クラブ、婦人防火クラブ、子供育成会を傘下にして、文字通り地域ぐるみの活動をしている。

②どんど焼き（1月）

公民館南において、新年をスタートする「どんど焼き」を行い、老若問わず大勢の市民が集い、この地の年中行事になっており、新年の五穀豊穡、家内安全、健康祈願する伝統的な行事として定着している。

③感謝祭・餅つき大会（11月）

伝統的な農産物の収穫に感謝する意味で行われてきた習わしを、勤労にもあわせて感謝するという意味で、餅つき大会を毎年実施し、親睦を深めている。

④防犯パトロールの実施

毎年第3土曜日を防犯の日と定めて、自治会の役員、老人クラブ、育成会による

防犯パトロールを行い犯罪の防止に努めている。歳末には駒生交番の協力も得て実施し、防犯を呼びかけ効果をあげている。

⑤高齢者の見守り活動

自治会、民生委員、福祉協力員と連携し、一人暮らしの高齢者や老々世帯、災害時要援護者の見守り支援活動を行っている。

⑥交通信号機の設置

地域内の安全点検により、通学児童の安全を図るため地域内中心部の三叉路交差点近くに押しボタン式の信号機の設置を中央警察に要請し本年3月に設置され、子供たちが安心して道路を横断できるように整備した。

交通信号機の新設



⑦防犯訓練の実施（毎年9月）

防災訓練の個別訓練として婦人防火クラブが中心となって、炊き出し訓練を実施し、炊きだされたカレーを一人暮らしの高齢者を対象にした避難訓練に提供しており技術の向上に努めている。

高い加入率を維持する秘訣

①当自治会は、比較的開発の少ない地域であり、自己所有の住宅に居住するものが多い。したがって、地域の諸行事に参加するものが多く、特に地域の体育祭、球技大会には大勢の住民が参加し、常に上位の成績を収めている。

その活動を通じ、未加入者に対しての加入を勧めている。

②住宅新築者、転入者等については、自治会長はじめ、執行部役員が個々に訪問面接し自治会の活動内容などを説明して加入を呼びかけている。